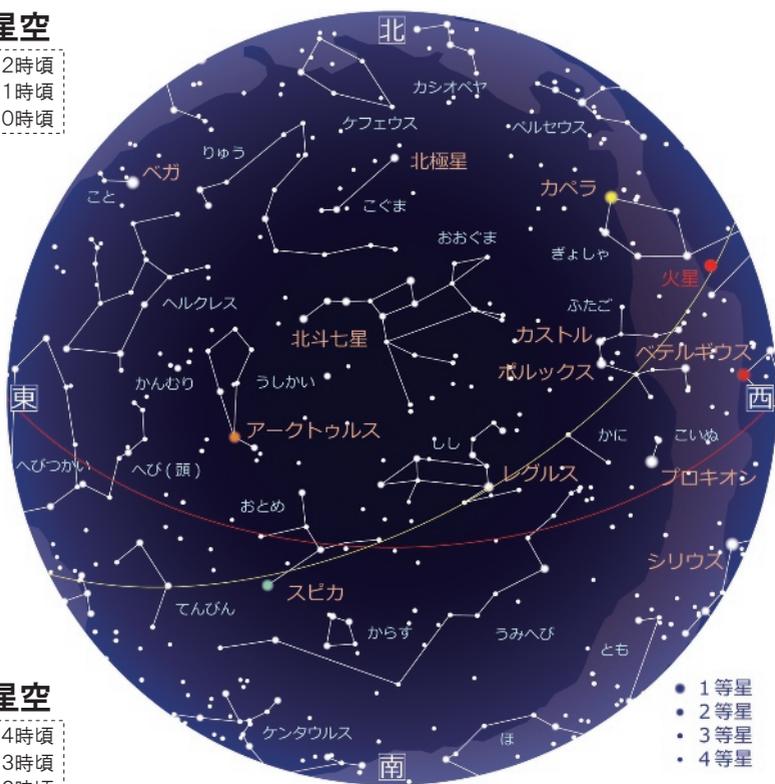


星空ガイド 4月16日～5月15日

よいの星空

4月16日22時頃
5月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

4月16日 4時頃
5月 1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	火	5:26	18:30	14:53	3:30	10.8
	21	日	5:19	18:34	20:32	6:36	15.8
	26	金	5:13	18:38	0:21	10:30	20.8
5	1	水	5:08	18:42	3:23	15:06	25.8
	6	月	5:03	18:46	6:02	20:01	1.2
	11	土	4:58	18:50	10:27	--:--	6.2
	15	水	4:55	18:53	14:55	2:45	10.2

※惑星は2019年5月1日の位置です。

月と惑星の接近

4月23日～26日にかけて、月と木星・土星が並んで輝きます。木星も土星も明るい星です。特に木星は-2.4等級と、大阪の夜空でもたいへん目立っています。明るい星と月が並んでいる様子は印象的です。何の星か気になる方も多いと思います。23日夜遅く～24日未明には月と木星、26日未明には月と土星が接近します。

なお、この時期は満月を過ぎていきますので、月が昇ってくるのは夜遅くになります。大阪での月の出の時刻は、23日が22:35、24日が23:31、26日は0:21です。



4月24日～26日 午前3時頃の星空

イースター

4月21日は「イースター」です。「復活祭」とも呼ばれ、その名の通りキリストが復活したことを記念するお祭りで、キリスト教圏の国ではクリスマスよりも大事なイベントの日です。

イースターの日付は「春分の日後の最初の満月の次の日曜日」としややこしい決め方をします。今年では春分の日と満月が同じ日で、さらにややこしいです。

実はイースターを計算する際の春分の日は3/21固定です。また満月も天文学的な満月でなく、教会暦の満月を指しています。というのも時差の関係で国によって春分の日や満月の日はずれることがあり、イースターの日が大幅に異なってしまうことも起こるためです。以上のルールの計算で、今年のイースターは4月21日になっています。

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	火	明け方に水星と金星がならぶ
	17	水	土用の入/月が最近(364,205km)
	19	金	○満月(20時)
	20	土	穀雨(太陽黄経30°)
	21	日	イースター
	23	火	天王星が合 4月こと座流星群が極大(9時)
	24	水	月と木星がならぶ(明け方)
	26	金	月と土星がならぶ(明け方)
	27	土	●下弦(7時)
	29	月	月が最遠(404,582km)/昭和の日
30	火	国民の休日	

月	日	曜	主な天文現象など
5	1	水	天皇の即位の日(祝日)
	2	木	八十八夜/国民の休日
	3	金	憲法記念日
	4	土	みどりの日
	5	日	●新月(8時)/こどもの日
	6	月	立夏(太陽黄経45°)/振替休日
	8	水	夕空に月と火星がならぶ/みずがめ座エータ流星群が極大のころ
	12	日	●上弦(10時)
	14	火	月が最近(369,009km)